

● 18リットル缶のリサイクル率は？

統計資料を用いた推計

経済産業省調査※によれば、業界別の鉄くず（18リットル缶含む）のリサイクル率は以下のように公表されています。

	発生量 (千t)	再資源化量 (千t)	リサイクル率 (%)
化学工業 (塗料含む)	108	106	98.1
印刷・同関 連業	18	18	100
石油製品・ 石炭製品 製造業	10	10	100
食品品製 造業	69	66	95.7

(平成24年度の値)

上記のリサイクル率と、表面で示した18リットル缶の流通量を基に、18リットル缶のリサイクル率を以下のように推定しました。

	18リットル缶 流通量 (万缶)	リサイクル 率 (%)	再資源化 量 (万缶)
化学工業 (塗料含む)	8,600	98.1	8,437
印刷・同関 連業	1,300	100	1,300
石油製品・ 石炭製品 製造業	100	100	100
食品品製 造業	5,000	95.7	4,785
合計	15,000	97.5	14,622

(平成24年度の値)

ヒアリング結果を基にした推計

化学原料、塗料、インキ、試薬、食品・食油、鉄リサイクル業者・産業廃棄物処理業者、再生缶業者など、様々な業界の担当者にヒアリング調査を行い、各業界における18リットル缶の処理状況を確認しました。それぞれの業界における状況は、以下のようになっています。

塗料・インキ業界

塗料メーカー、インキメーカー、塗装業者、印刷業者等が排出する使用済み18リットル缶は、回収・リサイクルルートが確立されています（表面参照）。一部、汚れがひどいもの等はリサイクルが難しいですが、量的にはわずかと確認されました。

試薬・化学製品業界

大学・研究機関等が排出する使用済み18リットル缶は、回収・リサイクルルートが確立されています（表面参照）。一部、中身が多量に残ったもの等はリサイクルが難しいですが、量的にはわずかと確認されました。

食品・食油業界

食品メーカーや飲食店等が排出する使用済み18リットル缶は、回収・リサイクルルートが確立されています（表面参照）。ほぼ100%がリサイクルされていると確認されました。

上記のヒアリング結果と、表面で示した18リットル缶の仕向け量を基に、18リットル缶のリサイクル率を以下のように推定しました。

	18リットル缶 仕向け量 (万缶)	リサイクル率 (%)	再資源化量 (万缶)
塗料・印刷インキ	6,000	90	5,400
化学	4,000	90	3,600
食品・食油	5,000	100	5,000
合計	15,000	93.3	14,000

アンケート結果を基にした推計

鉄リサイクル業者へアンケート調査を行い、約300社から回答を得ました。18リットル缶の回収・リサイクル状況は、以下のようになっています。

18リットル缶の受け入れ状況

約87%の事業者が18リットル缶を受け入れています。

↓
18リットル缶も他の鉄くずと同様にリサイクルの対象として扱われていることが確認できました。

18リットル缶の引き取り状況

引き取り先は企業、工場等が最も多く、次いで廃棄物処理業者、廃品回収業者、一般消費者、自治体となりました。

↓
様々な場所で利用された18リットル缶は、いずれも回収・リサイクルルートに乗ることが確認できました。

18リットル缶のリサイクル状況

約95%の事業者は、プレス、ギロチン加工などの処理した18リットル缶を、金属スクラップ問屋、電炉製鉄メーカーに引き渡しています。

↓
ほぼ全ての18リットル缶がリサイクルされていることが確認できました。

※ 資源有効利用促進法施行状況調査・産業分類別の副産物（産業廃棄物・有価発生物）発生状況に関する調査（平成24年度）

これらのデータを基に、リサイクル率を推計したところ・・・

18リットル缶のリサイクル率は、

93.3~97.5%

と推定されます

お問い合わせ先

本調査の内容に関するご意見・ご質問は下記の連絡先までお願い致します。

全国18リットル缶工業組合連合会

〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館4階

代表電話：03-5640-4041
FAX：03-5640-4042
メール：zenkoku@can18.or.jp

5つの理念

1. スチールは循環型社会に最も適合
2. どんな内容物にも対応可能
3. 内容物を完璧に保護
4. 形状・容量が適正かつ流通保管等の取扱いが便利
5. 資源を守り環境問題を最優先に考慮し理想の容器を目指します。



※ 本調査は、全国18リットル缶工業組合連合会が株式会社三菱総合研究所に委託して実施したものです。